

る差異はないのであるが然し元は提婆那伽梨字で書いてあつた處が殆ど全く羅馬字に書き直された事や、字書が別冊にされた事などは初學者に尠からぬ便宜を與ふる事と思ふ、殊に文抄中般若經典、普曜經、法華經、中論、俱舍論、其他原本に倍すべき量を各種佛典中より摘録された事、そして新に悉曇十八章と提婆那伽梨字が對照され、その書法まで詳述されてある事は本書が氏の前者と異なる主な點でこれは佛教梵本初學のものに對して頗る必要にして効果ある試みであると信ずる、尙かの梵字沿革略表の如きその結果を表示するに至るまでの氏の努力を多とせざるを得ない、然し若し今度かの「梵語入門」に於ける難解の用語が一層解り易く改められ、文法記述の方法が多少なりとも組織的にされたならば、そして又かの造頌法の説明が今少しく詳しくなり、提婆那伽梨字の文抄が尙幾らか加へられたのであつたならばと思はれる、然しこれは私共の至らざる望みであるかも知れない、兎に角本書は梵語初學者の一參考書として適當なものだと信ずる。

目次一、聲法、二、轉聲法、三、書法、四、造頌法、五、文抄、六、字書(別冊)。丙午出版社發行、菊版二五六頁(字書共)。
定價壹圓七拾錢。(本田義英)

教育と社會

アールヴィンゲ・キング著
中島半次郎序
田村重重譯

譯者田村重重氏は早稻田出身の秀才であつて飛きにはシラーの「プラグマティズム」を譯し今又キングの Social Aspect of Education を譯出せられたのである。氏が學界に對する努力の旺盛なるは敬服に堪へざる所である。原著者キングは米國アイオウア州立

寄贈書籍雜誌

大學の教育學の助教であつて已に兒童心理や教育學に關する數種の著書もありて學界で相當に知られて居る學者である。原著は千九百十二年の出版であつて第一篇、教育の外部の社會的關係、第二編、教育の内部の社會的方面に分れ、第一章緒論、教育の社會的見地以下二十章に亘り主に米國に於て研究せられたる教育の社會的方面に關する理論及實際の實例等を組織的に紹介し、之れに著者の教育意見を加へ全篇を出来る丈系統的に組織したものであつて米國に於ける此方面の研究を知るの資料として有益なるのみならず各主要題目に對する參考書も懇切に示してあつて研究上少らざる便宜を與へて居るのである。譯者は原著の精神及意義を十分明瞭に簡潔に紹介せんが爲め此を上中下の三篇十八章に分つて譯出し其上索引迄も附して居らるゝのである。資料的であつて而かも系統的理論を一貫させやうとした原著の内容を消化して簡潔に譯出することは決して容易の業ではないのであるが譯者の苦心の結果は遂にこれに成功したものと見てよいのである。殊に文章も練れて居つて濫濫難解の點なく普通の譯書に於て得易からざるよき氣分を感じしむるのであつて吾人は學界の爲め譯者の勞を多とするものである。且又中島半次郎氏の序文も研究上懇切なるものであつて本書を讀むに當り先づ此を一讀すべきものと思ふのである。大日本文明協會發行。(小西重直)

寄贈書籍雜誌

獨逸思想と其背景 文學博士 朝永三十郎 東京寶文館
國際經濟論 服部文四郎著 全

一一九